

# 3年 英語 9月3日

従来より、少し早めに2学期が始まりましたね。学校の生活リズムには慣れましたか？ まだ暑い日が続きますので、休み時間にはきちんと水分補給をしましょう。また、寝不足にならないよう、早めに寝てしっかり体を休めましょう。

さて、今月の9月16日から中間試験が始まります。夏休み明け、皆がこれまでの授業で習った文法は、New Crown Lesson4 Part1とPart2の「call A B」・「It... for to～」がありましたね。

ワークブックやドリルブックをまず自力で解き、自分の理解度を把握しましょう。また、間違えた問題を解き直したり、実力がついているのか確認のために、もう一度試験範囲となるワークの問題を最初から解いてみたりしてください。

**大切** 分からなかった問題は、休み時間や昼休みの時間を活用し、先生に質問をして「分からない」を解消しましょう！

= 試験範囲 =

教科書 Lesson3 USE Read～Lesson5 Part3, USE Speak  
( p. 23～59, p64, 65 )

主要な文法：現在完了形, call A B, It ... for to～,  
関係代名詞

\*下に、「call A B」「It... for to～」の文法のまとめスライドを載せています。復習の参考にしてください。

(私たちは その犬を ポチと 呼びます。)  
**We call** the dog Pochi.

< ~を >                      < ~と >  
 \* The dog と Pochi はイコールの関係

(その本は 私を 幸せにします。)  
**The book makes** me happy.

< よくこの形になる動詞 >

<b>call</b> A B	A を B と呼ぶ	<b>keep</b> A B	A を B (の状態) に保つ
<b>make</b> A B	A を B (の状態) にする	<b>name</b> A B	A に B と名付ける

友達とサッカーをすること は楽しい。

To play soccer with my friends



主語が長〜い

is fun for me  
It is fun for me to play soccer  
with my friends.

先に結論(形容詞)を言ってしまう、その後主語がくる。

It is 形容詞 ( for 人 ) to 動詞の原形

## <まとめ>

- ① **call A B** という語順で、「A **を** B **と** 呼ぶ」
- ② Aには「**人・もの**」、Bには「**呼び方**」
- ③ **make A B** という語順で、「A **を** B **に** する」
- ④ Aには「人・もの」、Bには「状態を表す語( **形容詞** )」
- ⑤ Whatを主語にした「何が」とたずねる文は、  
His songs make you happy.

↓  
What makes you happy ?

\* 「何が」「だれが」のように、たずねたいことが主語にくる場合は、  
 疑問詞の後にそのまま動詞を続ける。動詞に S をつける！

## <まとめ>

- ① <It... to ~ >で、「**~することは・・・だ。**」
- ② <to + 動詞の原形 >の塊を、  
 主語の位置に置き、「~することは」と表すこともできたが、  
主語を短くして文を分かりやすくする。
- ③ 主語のItは、とりあえずの主語(意味はない)
- ④ 「誰々が」や「誰々にとって」と、意味を加える時は、  
 <for + 人>で表し、不定詞の 前 に置く。

It is 形容詞 ( for 人 ) to 動詞の原形